

救急の日・救急医療週間

命を救うために

9月9日は「救急の日」。9月6日(日)～12日(土)は「救急医療週間」です。命を救うための対処法を理解し、いざという時に行動できるようにしましょう。



迅速な対応が尊い命を救う

迅速な応急手当てを

突然目の前で人が倒れた時、皆さんは何かできますか。

応急手当てが何もされなかった場合、心肺停止から10分で生存率は10パーセント以下になってしまいます。

本市では、救急車の到着までに平均約10分、震災や大規模災害の発生時はさらに時間がかかることが見込まれます。傷病者が命の危機に直面した時、現場に居合わせた人がどれだけ早く応急手当てを始められるかが、傷病者のその後の人生を大きく左右します。

心肺蘇生法を身に付けましょう

市では、いざという時に備えて、市民の皆さんに心肺蘇生法やAEDの操作方法などを身に付けてもらうため、応急手当てに関する各種講習会を開催しています。

開催日程は市ホームページや広報なりたでお知らせします。



市ホームページ

救急車の適正利用にご協力を

令和7年の救急車の出動件数は8,731件で、このうち救急搬送した7,279人の約4割は入院の必要のない軽症者でした。

緊急性がなく、自分で病院に行ける場合は、自家用車や公共交通機関などを利用してください。

救急車を呼ぶかどうか迷った場合は、救急安心電話相談「#7119」、こども急病電話相談「#8000」でアドバイス

を受けられるほか、全国版救急受診アプリ「Q助」で症状の緊急度を判定することができます。



全国版救急受診アプリ「Q助」

意識がないなど、急いで病院へ行った方が良いと思った時には、迷わず119番通報をしてください。慌てず、落ち着いて、はっきりと次のことを伝えましょう。

通報する時に伝える内容

○救急車が向かう住所(市区町村名から)

○年齢・性別

○けがや病気、意識の有無

○持病・かかりつけ医療機関

○通報者の氏名・電話番号

※くわしくは救急課(☎22・1273)へ。

救急キャンペーン

市では、市民の皆さんに救急隊の活動や応急手当ての重要性を身近に感じてもらうために「救急キャンペーン」を開催します。救急クイズラリーや心肺蘇生法の体験、救急車・救急資機材の展示、消防音楽隊による演奏、うなりくんダンスなどを行います。

日時=9月12日(土) 午前10時～午後3時

会場=イオンモール成田1階和み広場・なりそらテラス横



AEDの使い方を家族で学ぶ